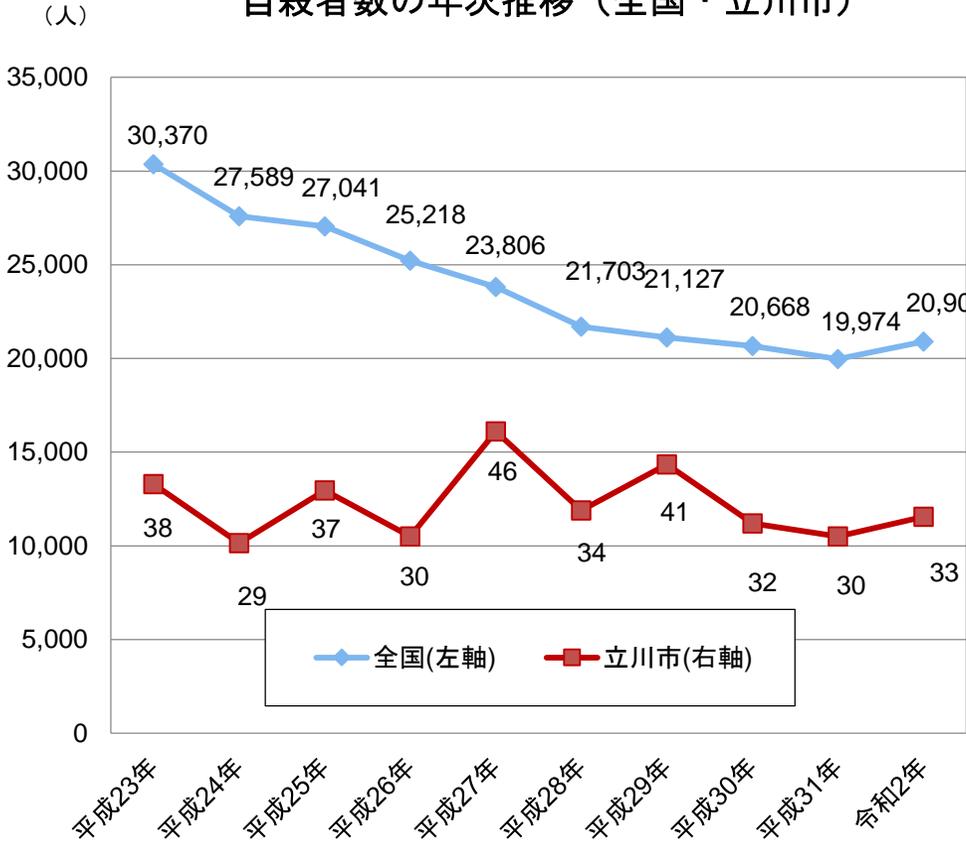
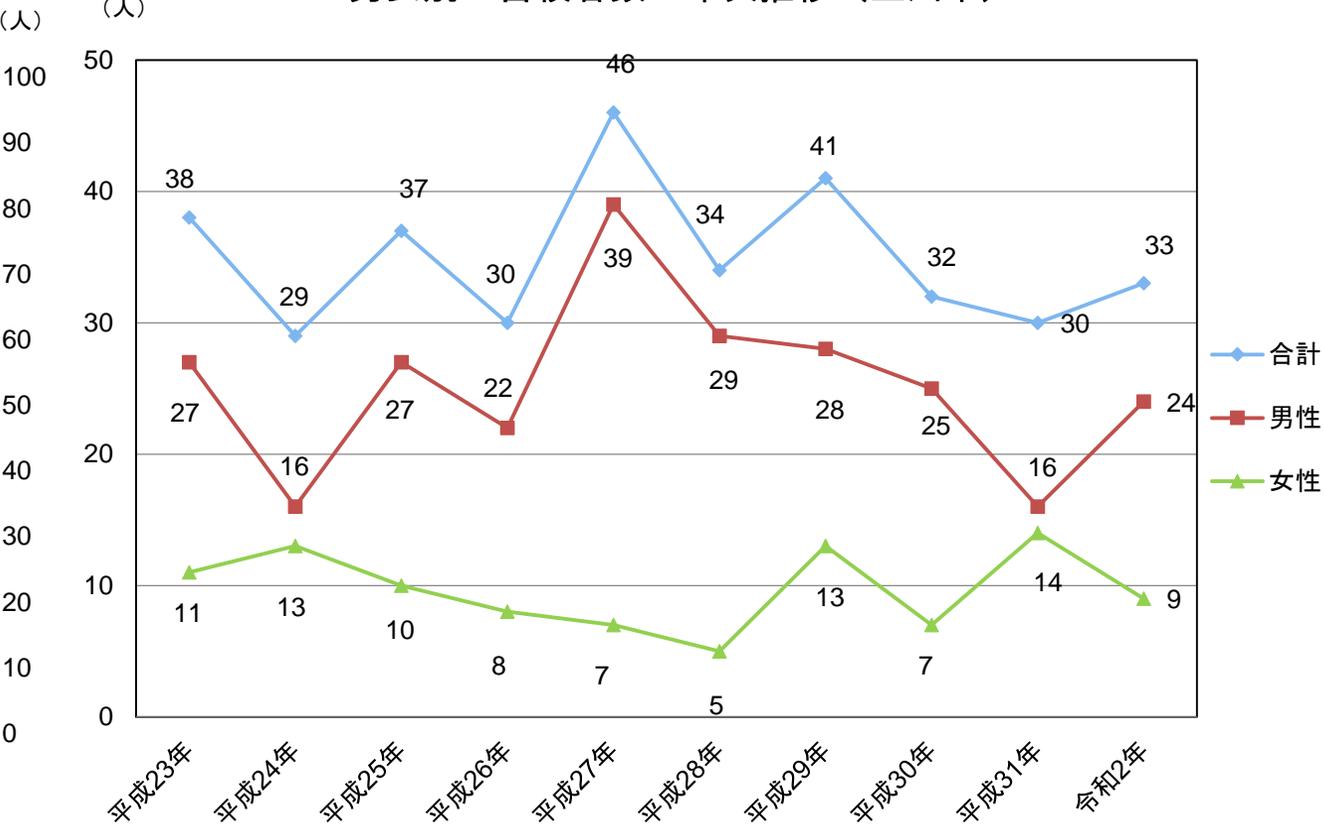


# 立川市の自殺者数の状況

自殺者数の年次推移（全国・立川市）

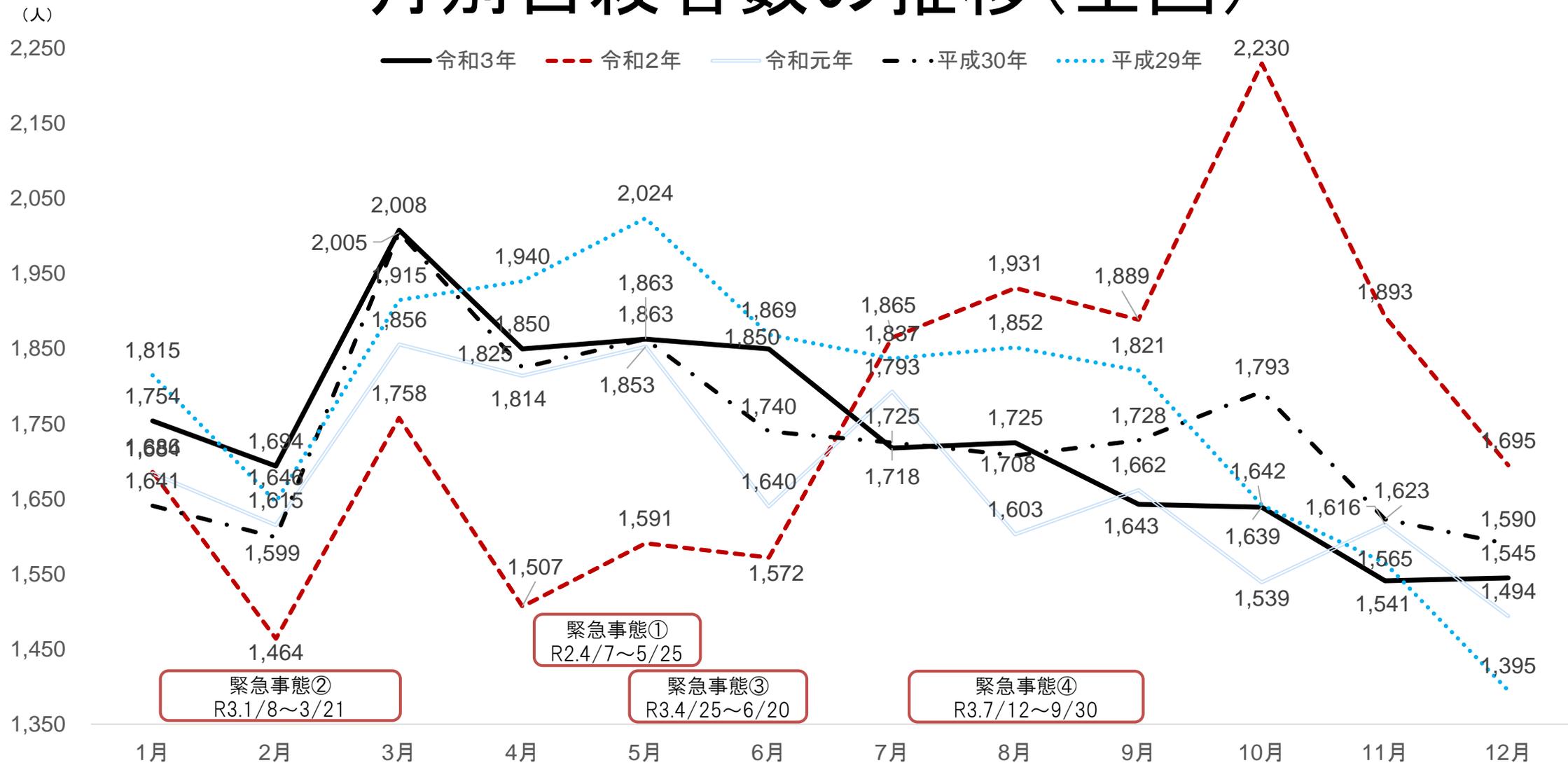


男女別の自殺者数の年次推移（立川市）



(出典) 厚生労働省 地域における自殺の基礎資料  
地域自殺実態プロフィール

# 月別自殺者数の推移(全国)



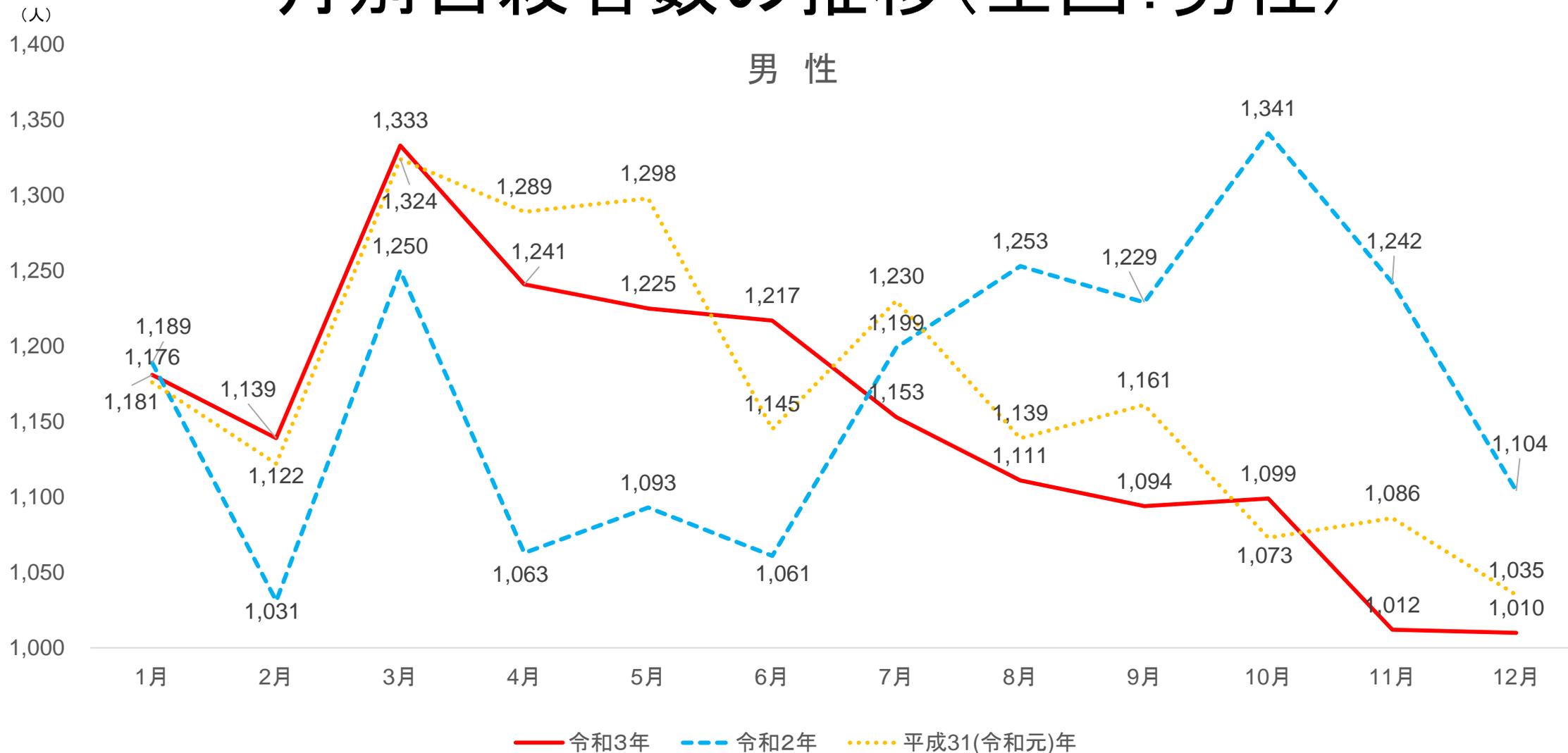
(出典) 警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等 (厚生労働省自殺対策推進室作成)

## 自殺の現状(全国)

- 令和3年の累計自殺者数(20,830人:速報値)は、対前年比251人(約1.2%)減。過去5年間でも2番目の少なさ。
- 内訳は男性13,815人(240人(1.7%)減)、女性7,015人(11人(0.2%)減)。
- 自殺死亡率(10万人対)は、16.5(男性22.5 女性10.8)。
- 自殺者数は、依然として女性よりも男性(66.3%)が多い。
- 政府の各種支援策が自殺の増加を抑制している可能性があると分析。

# 月別自殺者数の推移(全国:男性)

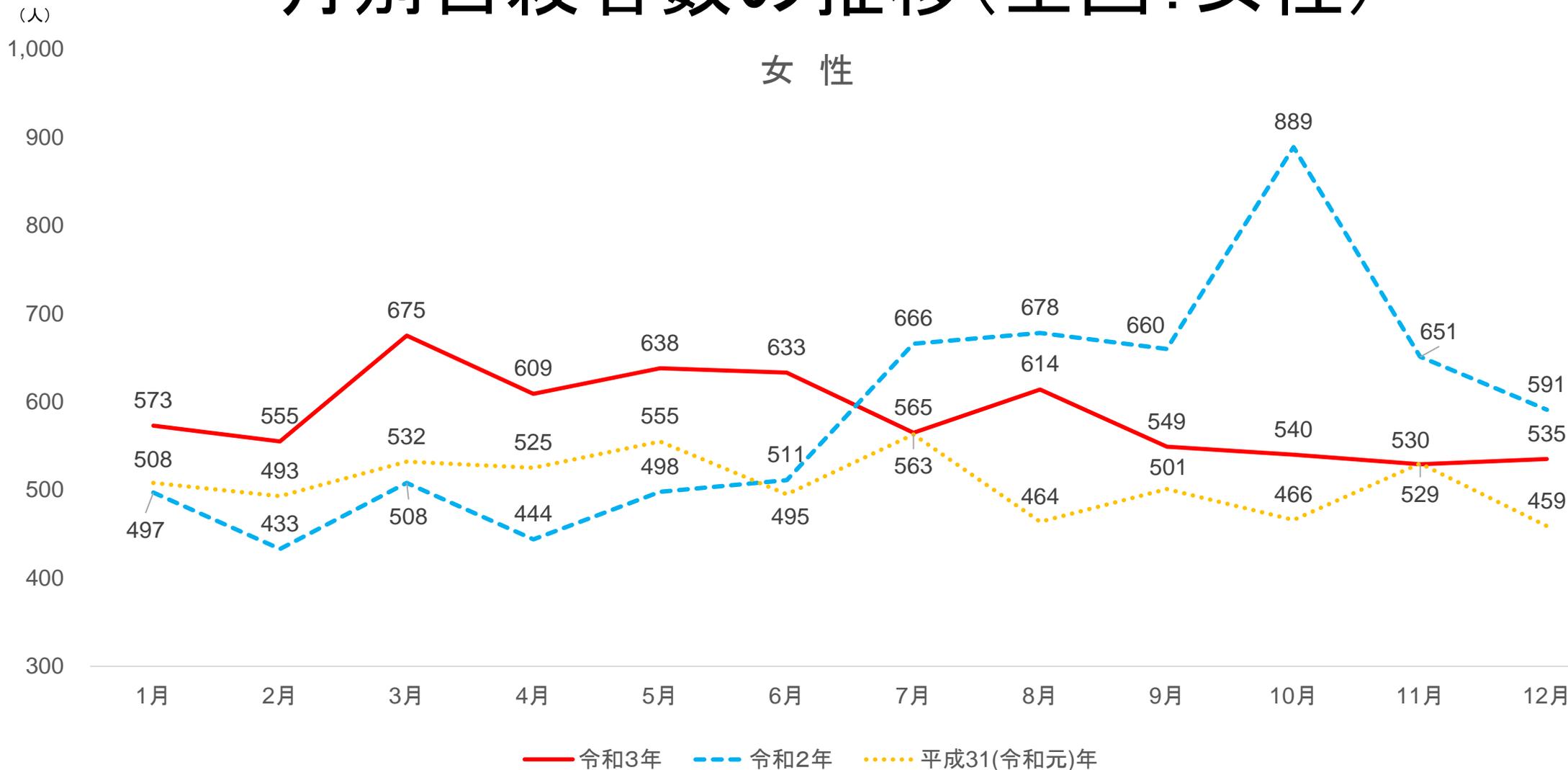
男性



(出典) 地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省自殺対策推進室)

# 月別自殺者数の推移(全国:女性)

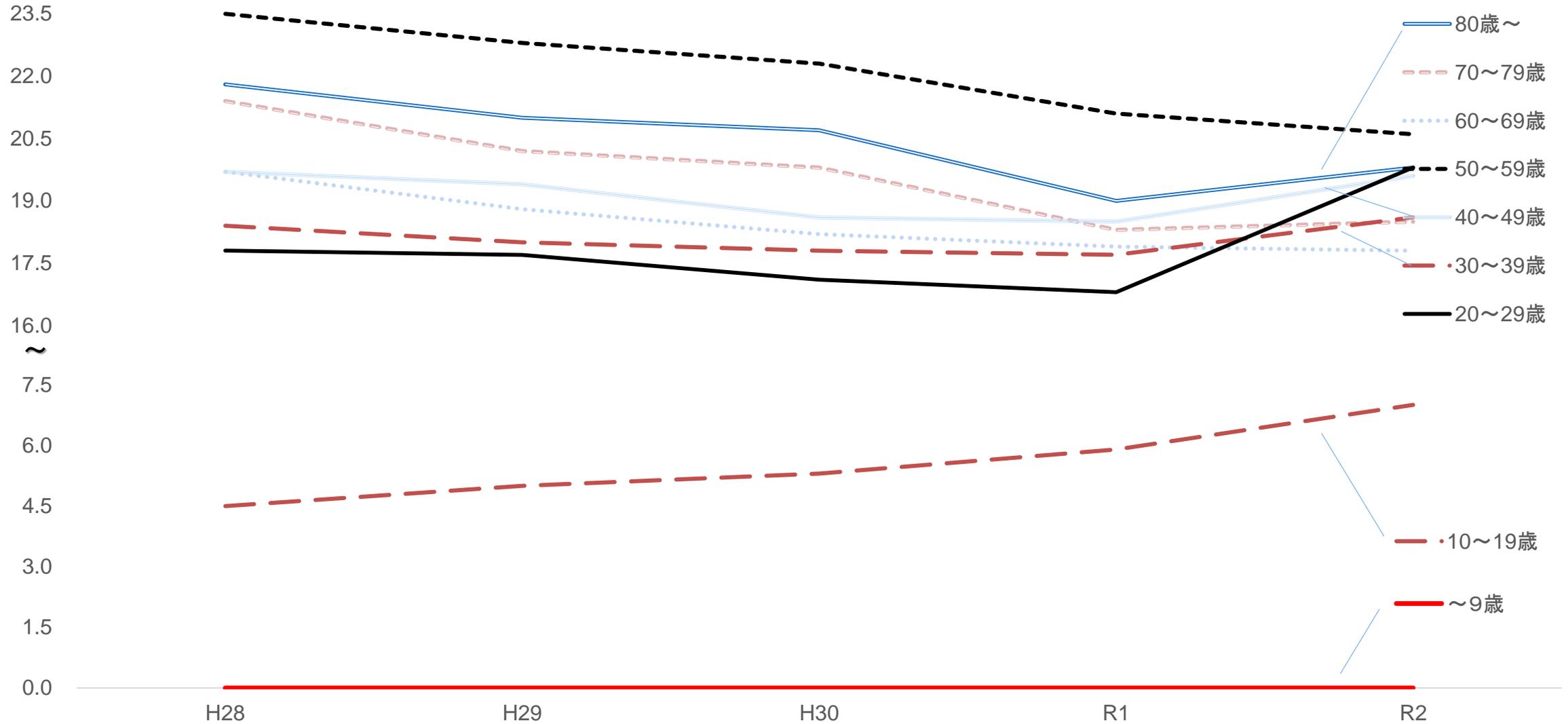
女性



(出典) 地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省自殺対策推進室)

# 年齢階級別自殺死亡率の推移(全国)

(10万人対)



(出典) 地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省自殺対策推進室)

# 年齢階級別自殺死亡率の推移(全国)

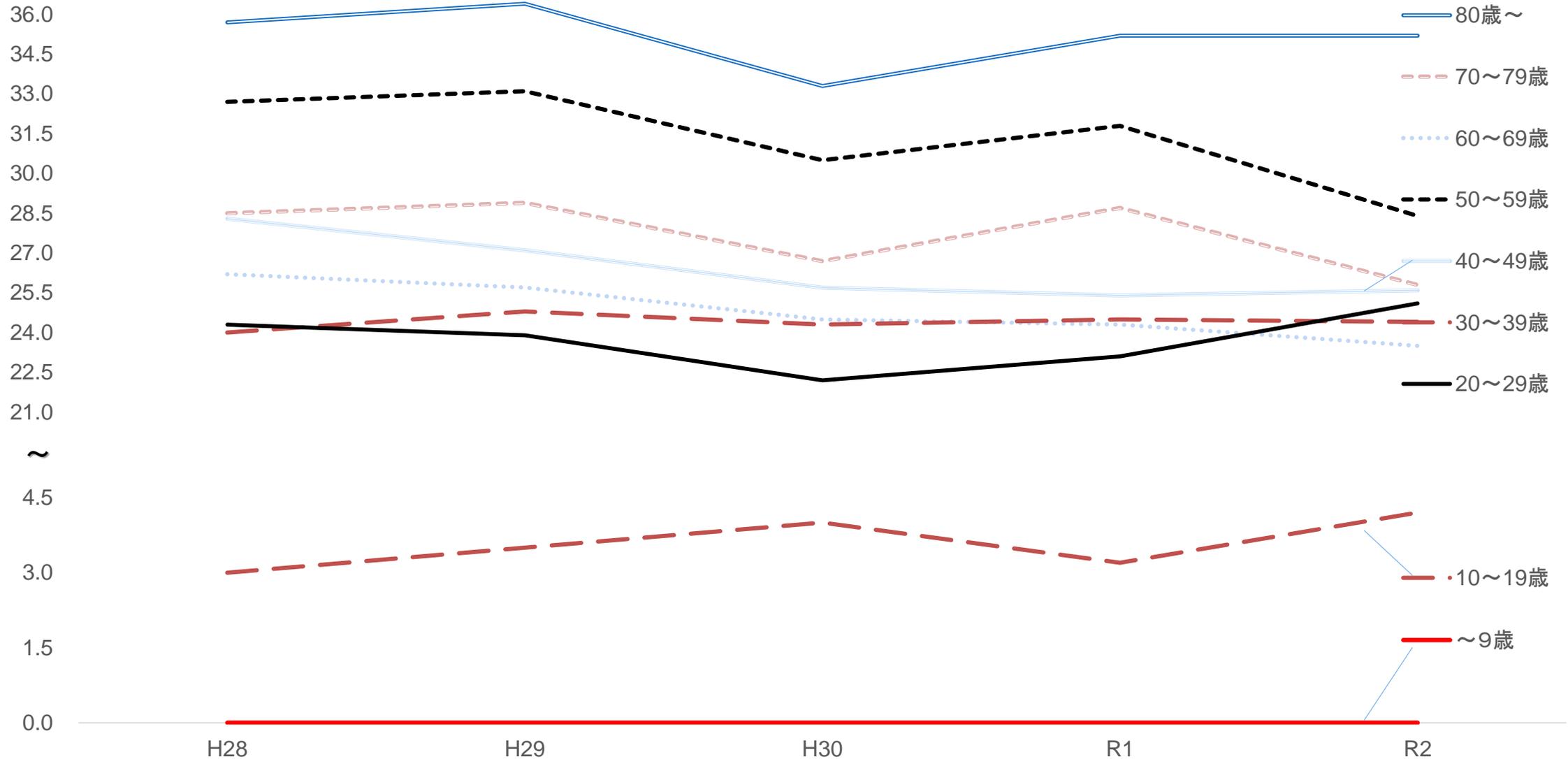
(10万人対)

	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	全体
H28	0.0	4.5	17.8	18.4	19.7	23.5	19.7	21.4	21.8	17.3
H29	0.0	5.0	17.7	18.0	19.4	22.8	18.8	20.2	21.0	16.8
H30	0.0	5.3	17.1	17.8	18.6	22.3	18.2	19.8	20.7	16.5
R1	0.0	5.9	16.8	17.7	18.5	21.1	17.9	18.3	19.0	16.0
R2	0.0	7.0	19.8	18.6	19.6	20.6	17.8	18.5	19.8	16.7

(出典) 地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省自殺対策推進室)

# 年齢階級別自殺死亡率の推移(男性)

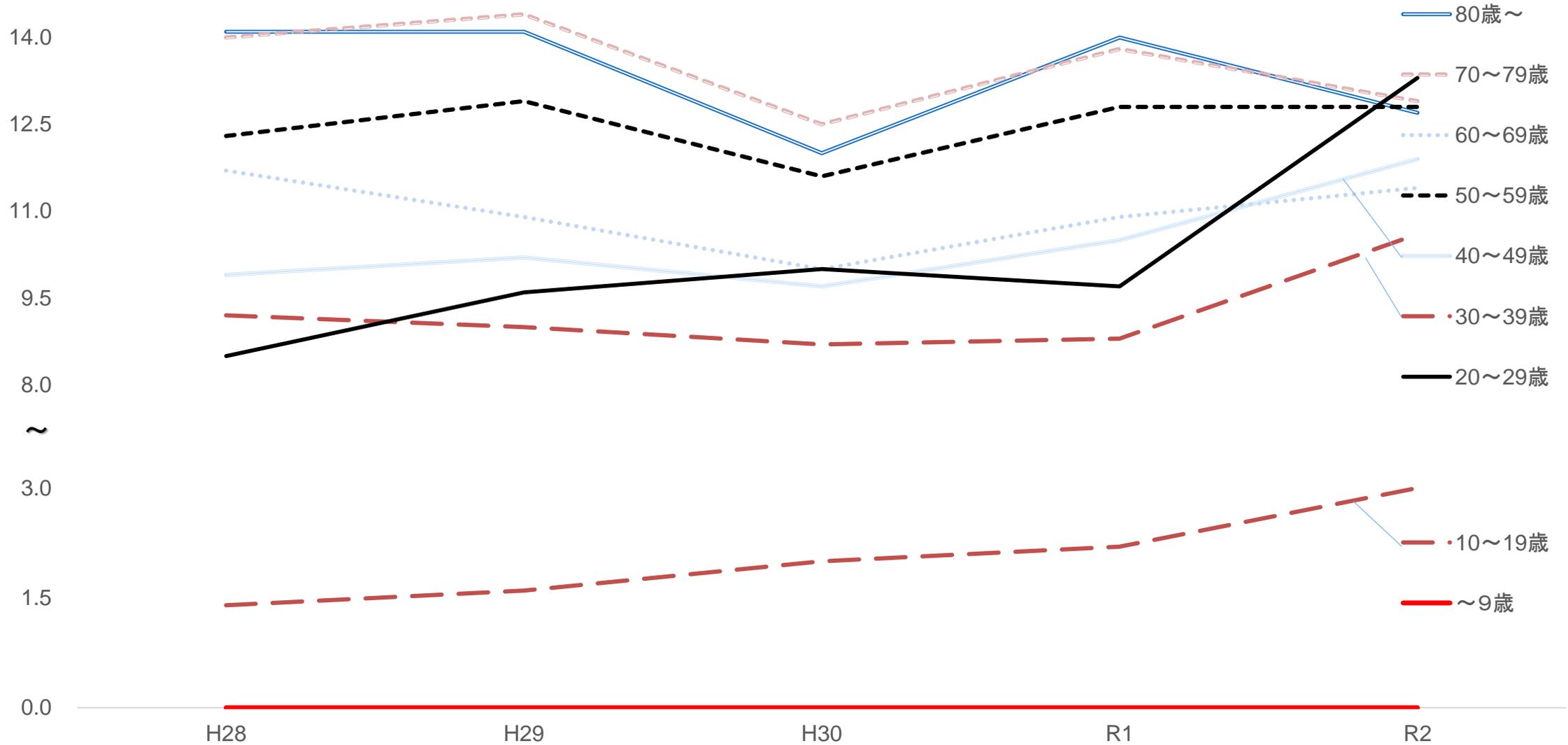
(10万人対)



(出典) 地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省自殺対策推進室)

# 年齢階級別自殺死亡率の推移(女性)

(10万人対)



(出典) 地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省自殺対策推進室)

# 年齢階級別自殺死亡率の推移(全国)

## ➤ 男性

(10万人対)

	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	全体
H28	0.0	3.0	24.3	24.0	28.3	32.7	26.2	28.5	35.7	24.5
H29	0.0	3.5	23.9	24.8	27.1	33.1	25.7	28.9	36.4	24.0
H30	0.0	4.0	22.2	24.3	25.7	30.5	24.5	26.7	33.3	23.2
R1	0.0	3.2	23.1	24.5	25.4	31.8	24.3	28.7	35.2	22.9
R2	0.0	4.2	25.1	24.4	25.6	28.4	23.5	25.8	35.2	22.9

## ➤ 女性

(10万人対)

	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	全体
H28	0.0	1.4	8.5	9.2	9.9	12.3	11.7	14.0	14.1	10.4
H29	0.0	1.6	9.6	9.0	10.2	12.9	10.9	14.4	14.1	10.0
H30	0.0	2.0	10.0	8.7	9.7	11.6	10.0	12.5	12.0	10.1
R1	0.0	2.2	9.7	8.8	10.5	12.8	10.9	13.8	14.0	9.4
R2	0.0	3.0	13.3	10.6	11.9	12.8	11.4	12.9	12.7	10.9

(出典) 地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省自殺対策推進室)

## 年齢階級別自殺死亡率のまとめ(全国)

- 令和2年の自殺死亡率は、10歳代から30歳代が特に増加となった。
- この傾向は女性で特に顕著となっており、女性は10歳代か50歳代まで増加した。
- これに対し男性は、10歳代から20歳代は増加したが、それ以外の年代は減少又は横ばいの傾向となった。
- 国は男女とも著名芸能人の自殺報道の影響が大きいと分析。
- 一方で60歳代以上の高齢者については減少又は前年並みとなっている。コロナ禍でも生活の変化が少ないと分析。

# 立川市の自殺者数の推移(男女別)

## ➤ 男性

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R2	1	2	2	1	1	5	4	0	0	2	3	3	24
R3	2	0	1	4	0	1	0	0	3	0	0	—	11

## ➤ 女性

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R2	1	0	2	0	1	1	0	0	1	2	0	1	9
R3	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	—	5

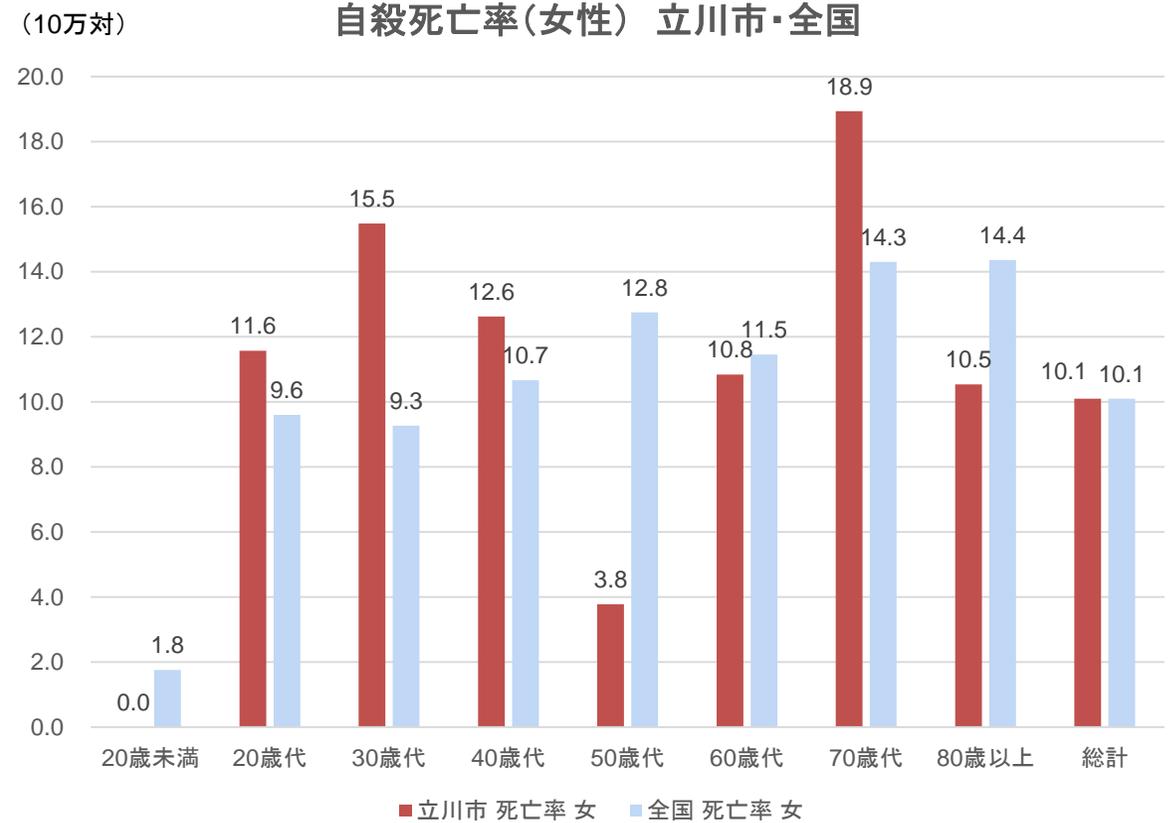
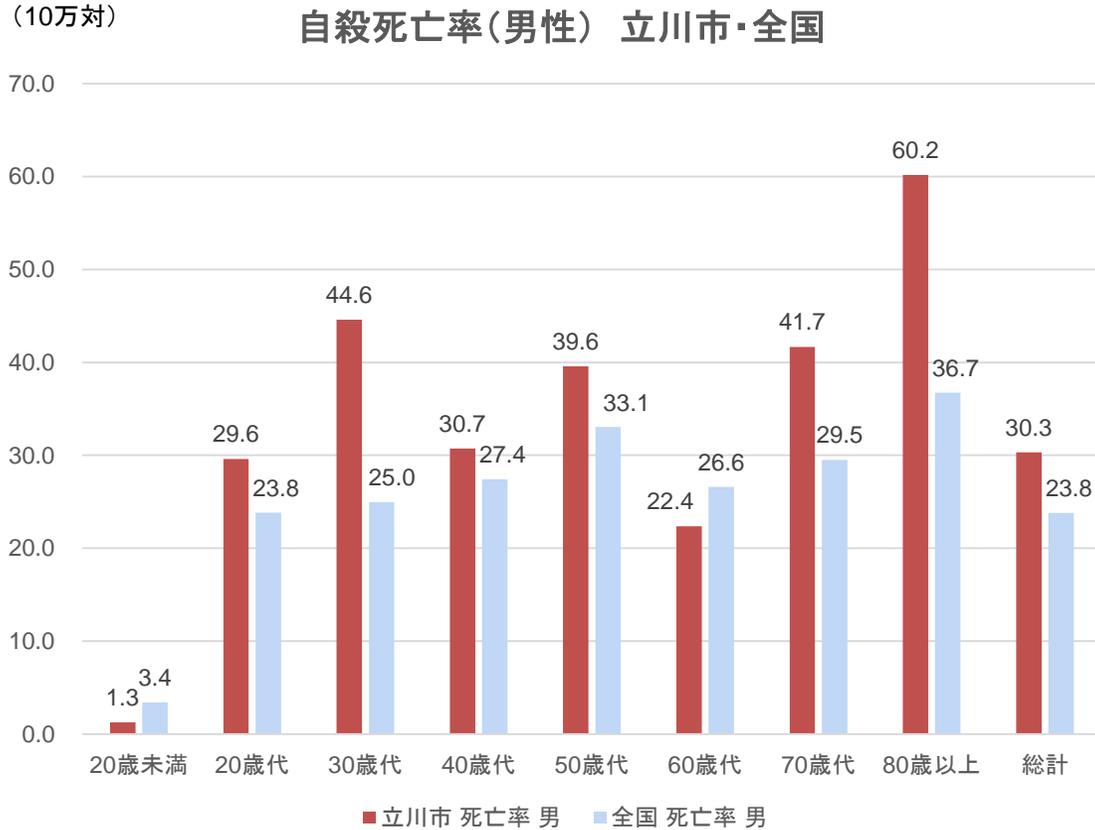
(出典) 地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省自殺対策推進室) ※R2は確定値、R3は暫定値

# 地域の自殺の特性の評価

区分	立川市自殺死亡率	全国の市区町村順位
総数	20.2	上位20～40%
男性	30.3	上位20～40%
女性	10.1	—
20歳未満	0.7	—
20歳代	20.8	上位20～40%
30歳代	30.9	上位10～20%★
40歳代	22.1	上位20～40%
50歳代	22.5	—
60歳代	16.5	—
70歳代	29.2	上位20～40%
80歳以上	28.5	上位20～40%
若年者(20～39歳)	26.2	上位10～20%★
高齢者(70歳以上)	28.9	上位20～40%
勤務・経営	19.0	上位20～40%
無職者・失業者	42.8	上位20～40%

(出典) 地域自殺実態プロファイル (2020)  
2015～2019年合計

# 自殺率(性・年代別)の状況



(出典) 地域自殺実態プロファイル (2020)  
2015~2019年合計

# 令和3年度 自殺対策事業実施状況①

取組	実施時期(予定)	内容	備考
①立川市いのち支える自殺総合対策推進本部・検討委員会の開催	8月5日・1月20日	自殺対策計画の策定及び推進を行う。また、必要な事項を検討するため検討委員会を開催する。	【基本施策1-1】
②立川市いのち支える自殺総合対策連絡協議会の開催	9月29日・2月14日	地域における自殺対策の推進。計画の進捗管理、その他情報交換を行う。	委員10人 【基本施策1-2】
③ゲートキーパー養成講座(初級・中級)の開催	(初級)9月3日・ (中級)12月1日	(初級)自殺の兆候に対する気づき力を養成する。 市民・職員が対象 (中級)民生委員・児童委員が対象(支援者向け)	(受講者)初級32名・ 中級39名【基本施策2-1】
④メンタルヘルスに関する講座	①9月11日・ ②3月12日	①コロナ疲れとの上手なつきあい方～健やかな睡眠へのいざない(東京医療保健大学と共催)②音楽ではぐくむこころの健康(休日開催・国立音楽大学との連携)	(受講者)①50名② 30名【基本施策2-2】
⑤わかちあいの会の開催(共催)	年6回(日曜) 隔月で実施	自死遺族対策(基本4-4) 遺族の孤立防止などの支援を行う団体と連携し支援する。自死遺族の方同士が死別後の感情や体験を語り合い、支え合う場の提供。NPOが運営している。	昭島市との共催事業【基本施策4-4】
⑥国と東京都の自殺対策強化月間に合わせた、普及啓発のためのパネル展示	①9月27日～28日・②3月8日～13日	①本庁多目的プラザにて自死遺族の声のパネルを展示。こころの相談窓口案内や簡易ストレスチェッカーの配布等を実施。②中央図書館との共催により自死遺族の声のパネル展示と自殺やメンタルヘルス関連図書の展示を行う。	【基本施策3-2】

## 令和3年度 自殺対策事業実施状況②

取組	実施時期(予定)	内容	備考
⑦からだところの相談(健康会館) 【資料3参照】	通年	こころの不安、悩みなど(精神保健福祉相談)	通常業務時間対応 【基本施策4-2】

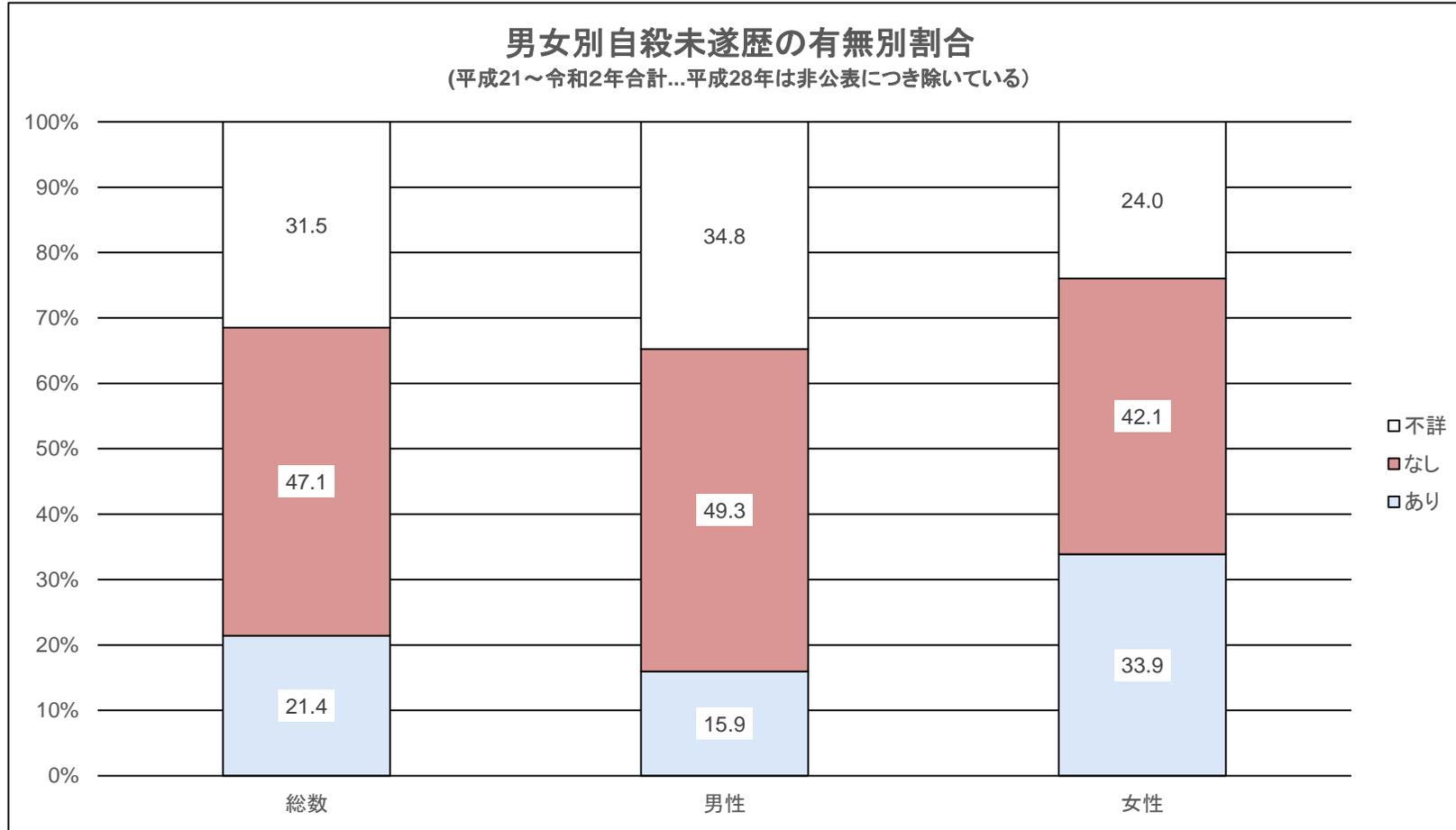
# 令和4年度 自殺対策事業実施計画①

取組	実施時期(予定)	内容	備考
①立川市いのち支える自殺総合対策推進本部・検討委員会の開催	7月・1月	自殺対策計画の策定及び推進を行う。また、必要な事項を検討するため検討委員会を開催する。	【基本施策1-1】
②立川市いのち支える自殺総合対策連絡協議会の開催	6月・2月	地域における自殺対策の推進。計画の進捗管理、その他情報交換を行う。	委員10人 【基本施策1-2】
③ゲートキーパー養成講座(初級・中級)の開催	(初級)9月・(中級)4月・5月・7月	(初級)自殺の兆候に対する気づき力を養成する。市民・職員が対象 (中級)公立学校教職員(生活指導主任等)が対象(調整中)	(受講予定)初級35名・中級30名 【基本施策2-1・5-2】
④メンタルヘルスに関する講座	①9月・②3月 ・③未定	①こころの健康教育(東京医療保健大学と共催)②こころの休日健康セミナー(休日開催)③自殺希少地域を分析した「生き心地の良い町」の著者を講師に招き、自殺対策に関する講演会を実施する(調整中)。	(受講予定)①50名 ②30名③200名 【基本施策2-2】
⑤わかちあいの会の開催(共催)	年6回(日曜) 隔月で実施	自死遺族対策(基本施策4-4) 遺族の孤立防止などの支援を行う団体と連携し支援する。自死遺族同士が死別後の感情や体験を語り合い、支え合う場を提供する。NPOが運営している。	昭島市との共催事業【基本施策4-4】
⑥国と東京都の自殺対策強化月間に合わせた、普及啓発のためのパネル展示	①9月・②3月	①本庁多目的プラザにて自死遺族の声のパネルを展示。こころの相談窓口案内や簡易ストレスチェッカーの配布等を実施。②中央図書館との共催により自死遺族の声のパネル展示と自殺やメンタルヘルス関連図書の展示を行う。	【基本施策3-2】

# 令和4年度 自殺対策事業実施計画②

取組	実施時期(予定)	内容	備考
⑦からだところの相談(健康会館)	通年	こころの不安、悩みなど(精神保健福祉相談)	通常業務時間対応 【基本施策4-2】

# 自殺未遂歴の有無別割合



(出典) 厚生労働省 地域における自殺の基礎資料